

ナビゲーター  
黒木あるじ

一九七六年青森県生まれ。二〇〇九年、「おまもり」で第7回ビーケーワン怪談大賞・佳作を受賞。「ささやき」で第1回「幽」怪談美話コンテストブンまわし賞を受賞し、二〇一〇年に『震(ふるえ)』でデビュー。近著は『奥羽怪談』(アンソロジー)、『怪談四十九夜地獄蝶』(アンソロジー)など。山形市在住。

山形市在住の怪談作家・黒木あるじ氏をナビゲーターに迎え、「ひがしね百物語」と称し、怪談を切り口に、その地域にまつわる様々な伝承や歴史などの物語を掘り起こしてゆくプロジェクト。毎回少しずつテーマやアプローチを変え、東根を新たに読み解いてゆく。

## ふしき ポストとは?

開催日約一か月前から百物語

当日前まで、館内に出現する怪談投稿専門



山形市在住の怪談作家・黒木あるじ氏をナビゲーターに迎え、「ひがしね百物語」と称し、怪談を切り口に、その地域にまつわる様々な伝承や歴史などの物語を掘り起こしてゆくプロジェクト。毎回少しずつテーマやアプローチを変え、東根を新たに読み解いてゆく。

## ひがしね百物語とは?



2021年11月30日発行

瓦版 まなびあテラス

# 与次郎と謂ふ狐



【朗読】  
「与次郎稲荷」

朗読『与次郎稲荷』

あらすじ：徳川家康が天下

を治めた頃。家康は、常

陸国（現・茨城県）水戸を治

める佐竹義宣（さたけよしのぶ）

がいうことを聞かず気に入らない。

ある時、佐竹が徳川を討つ

と、その噂が立ち、ついに義宣に秋

田への国替えを命じる。義宣は

開始。ある夜、白髪の老人が

材、ひょうたん。投函口が狭い。

開催日約一か月前から百物語

ボスト。館内の図書館入口に設置され、来館者からの不思議な体験談の投稿を受け付ける。投稿された中から黒木氏が厳選し、毎回少しずつテーマやアプローチを変え、東根を新たに読み解いてゆく。

第四夜「狐火夜話」	
第一部 与次郎と謂ふ狐	第三部 ふしきボストの投稿の紹介
第二部 山形おきつね異聞	怪異譚蒐集の時間
日時 二〇二二年三月十三日(土)	場所 まなびあテラス市民ギャラリー
十七時～十九時	

※「與次郎」「與治郎」等複数表記あり、本稿では「与次郎」で表記。  
朗読：大数見 司会：天野  
企画：まなびあテラス  
市民活動支援センター  
天野・高橋

朗読：大数見 司会：天野  
企





